

令和8年度第1回公立大学法人福知山公立大学評価委員会 議事録概要

1 日 時 令和8年7月6日（月）10：00～12：20

2 場 所 福知山公立大学4号館4階会議室

3 出席者

委員	（リモート参加）青山委員、大久保委員 （会場参加）菊田委員、藤原委員、山口委員
福知山市	伊藤室長、西舩課長、塩見係長、四方主事、吉田職員
福知山公立 大学	川添理事長兼学長、倉田副学長、井上地域経営学部長、渋谷基盤教育院長、 畠中研究科長、倉本理事補 辻事務局長、荻野次長、大江課長、小原課長、中尾課長、今田課長補佐、 神代課長補佐、杉本主事

4 会議概要

	議題・報告事項	内容
1	委員長・職務代理選出	互選により青山公三委員が委員長に、委員長指名により大久保正明委員が職務代理に選出。
2	【議題（1）】 令和7年度及び中期目標期間 （4年終了時）業務の実績に関 する評価方針及び実績評価にか かるスケジュールについて	事務局から【資料1－1】から【資料1－5】に より説明。
3	【議題（2）】 令和7年度及び中期目標期間 （4年終了時）業務実績評価に ついて	福知山公立大学から資料により説明。 ■ 今後、評価委員で評価作業を進め、8月7日の 第3回評価委員会で、委員会としての評価を 決定する。
4	【議題（2）】 意見交換・質疑等	（委員からの主な意見） ■ 「福知山モデル」について、第2期中期計画終 了時までにはっきりアピールできるものに仕 上げてほしい。 ■ 大学院について、地域企業で働く人を受け入 れできる環境整備をするなどして、地域に大 学があることによる恩恵を波及させていただ きたい。
5	【報告事項】 令和7年度公立大学法人福知山 公立大学財務諸表等について	福知山公立大学から資料により説明。

5 協議要旨

- (1) 議題1：令和7年度及び中期目標期間（4年終了時）業務の実績に関する評価方針及び実績評価にかかるスケジュールについて

(事務局)

【資料1－1】から【資料1－5】、【資料3－3】により説明。

議題2：令和7年度及び中期目標期間（4年終了時）業務実績評価について

(法人)

資料により説明。

(委員)

- 近年、福知山公立大学と同様に地域経営学と情報学をかけ合わせたような大学が増えてきていると聞いた。福知山公立大学ならではの特性を改めて教えていただきたい。
- 令和7年度における大学院の定員充足率を教えていただきたい。
- 計画番号29番、志願者確保の自己評価を2とされていることについて、これからさらに取り組むべき課題とおっしゃられているが、複合的な取り組みが必要なのではないかと感じている。計画番号29番に関連する計画番号30～32番の自己評価が4になってくると志願者確保につながってくるのではないかと考えるが、学内でどのように考えられているか具体的な内容を改めて教えていただきたい。

(法人)

- ⇒今年度から開始した基盤教育科目である「地域協働演習」は本学の特徴的な科目であると認識している。今年度は福知山市に協力いただき、課題や具体的なデータを提供いただいて授業を組立てた。行政は1つのアクターにすぎないが、市民の方々あるいは地域の組織の方々が教育の中身に直接関わる形で教育が組立てられるというのは本学ならではの特性であると考え。
- ⇒大学院の入学者数について、入学定員20名に対し初年度は15名、2年目は16名、今年度は21名であった。次年度はもう少し増えるのではないかと期待している。
- ⇒志願者確保について、やはり学生にとって「この大学で学ぶことが魅力的である大学」になることが一番だと考えている。どうすれば魅力的な大学にできるかは多角的に考える必要があるが、短期的に受験業界的な技術で志願者を確保する方法についてもいろいろと考えていかななくてはならない。世の中の流れとして年内入試の割合が高まってきており、昨年度から始まった総合型選抜の割合や実施形態の是非については全学教育企画室において検討を始めている。
- また、大学は学生にとって学ぶ場でもあるが4年間生活をする場でもあるため、学習・生活環境という面も無視できず、総合的に考えていく必要性を認識している。

(委員)

- 受験倍率について、一般的な算出方法である「受験者数/募集定員」ではなく「受験者数/合格者数」という実質倍率を出す方法では、数字だけがひとり歩きしてしまう場合もあるため、算出方法については考えるべきだと思う。一方で、重要なのは定員を充足できているかどうかであり、それをクリアされている点については一定評価すべきであると考え。
- 令和7年度の就職者162人のうち北近畿地域への就職者は7人であったが、この数字についてどう考えておられるか、また地域の大学として学生に地域に残っていただくことについてどのように考えられているか教えていただきたい。

(委員)

⇒委員のおっしゃる通りであるが、定員の確保ができているとはいえ、自らが掲げた目標に対して到達できていないことについては2と評価せざるを得ない。

⇒162分の7という数字は決して多いとはいえないが、数値的な目標を立てることは難しいと考える。インターンシップを増やしたり、地域に就職しやすい環境を醸成したりすることはできるが、特に情報学部生は大都市圏のIT企業への就職実績もあり、地域での活躍よりそちらが魅力的に見えるということについては大学では操作できない領域である。就職の問題は地域あるいは社会全体のあり方によって決まると考えるため、大学の動きだけで変えることは難しい。

(委員)

- 基盤教育院が今年度からスタートしたことについて一言いただきたい。
- 教職課程についても今年度からスタートしており、40名の履修登録があったと聞いたが、どのような状況か教えていただきたい。

(法人)

⇒基盤教育院は、教育目標として新たに掲げられた「情報学を基盤とした地域協働型教育」と「汎用的学修能力の育成」を両学部4年間のカリキュラムの中で達成するうえで、特にその基盤となる1・2年生の教育課程についてどのように教育していくかということを考えて設計されたものである。24年度まで展開されていた共通教育科目にあたる科目群であるが、内容もかなり刷新されている。具体的には次の5つに分けられる。

- ・地域協働型教育の基盤科目
- ・情報科目の基盤科目
- ・論理的思考演習やアカデミックスキルの育成科目
- ・言語科目
- ・いわゆる一般教養にあたる科目

単にいろいろな学問分野の基礎を学ぶだけではなく、専門科目につながるような学問分野の基礎科目を配置しており、学生が自分の中で統合していくことで専門教育につなげられる設計になっている。まだまだ試行錯誤している部分もあるが、両学部生の4年間の学びの基盤となる教育をしていくことを目標に展開している。

(法人)

⇒今年度から教職課程をスタートしており、これから想定されることは途中で挫折して辞めてしまう学生が出てくることである。そのため、今年度はモチベーション維持のための取り組みが必要であると考えている。福知山市教育委員会と京都府教育委員会の協力を得て、後期のはじめに、現役の教員にお話いただき、教職につく意義を学んでもらうことを計画している。

情報と数学の免許を取得できるが、両方取得したい学生が20名、情報のみが14名、数学のみが6名であった。2年生以降になると実習科目が増えるため、大学としてしっかりサポートしていきたい。地域の方の協力も得て、社会との関わりといったことも学べる課程にすることで、免許に届かないあるいは採用試験に合格しなくても、「人を育てる」ことに気持ちを持った学生を育てていきたいと考えている。

(委員)

- 教職課程を入れたことで志願者数に影響はあったか。

(法人)

⇒なかったと考えている。近年の傾向として2年生で志望校を決める傾向があり、今年度の募集に効果が表れれば教職課程を設けたことが寄与したと見ることができると考える。

(委員)

- 感想になるが、川添学長に説明いただいた資料が極めて見やすく、これは第3期中期計

画を策定する際の大きな参考資料になると感じた。

- 「福知山モデル」について随分理解が深まってきたと思うので、中期計画期間終了時に「福知山モデル」とはなにかを活字でアピールするものに仕上げていただきたい。その際、いくつか細分化して書かれるべきだと考えている。教育の面での「福知山モデル」であれば、地域でのフィールドワークに振り切って教育されていることも「福知山モデル」と言えるだろう。研究についても、消防の AI や地域の DX など、これも地域と協働で研究されているため「福知山モデル」と言っている。従来からされている地域連携については言うまでもなく、突出して他の大学に負けないことをされている。ステークホルダーから見ると、学生にとっての「福知山モデル」も考える必要があり、教育の成果として学生が地域に留まるということも必要視されると考える。また、教員についても、研究の軸を地域に根差したものにすることが「福知山モデル」と言えるのではないかと。そして、地域の皆様にとって「福知山モデル」がどのようなものであるか、という視点も重要であると考えている。7万人の市民の皆様からの視点で考えるときに、やはり設置団体である福知山市の「まちづくり構想」等における福知山公立大学の位置づけが重要になってくると考える。以上のような内容が盛り込まれると他者に自信をもって説明できるような「福知山モデル」になると考えている。
- 各項目については言うことがないほどであり、リメディアル（特に数学などの入学前に不足していた基礎学力を補うための補習教育）も行われており、引続きしっかりされているという印象を受けた。
- 受験倍率については、優秀な学生、入学者を集めるうえで適正な指標が何かを考えていただければ良いと思う。
- 教職課程で教育実習を実施される際に、文部科学省はいわゆる母校以外の学校での実習を推奨している。これについて、学生任せにするのではなく、大学として地域の中学・高校との協定を結び、実習先として受入れていただける環境を整備されているのか伺いたい。
- 大学院について、社会人大学院として地域の工業団地に勤められている社会人の方を学び直しや学位取得目的に受け入れることは、学生にとっても大きな刺激になり、また産業振興にもつながると考えるが、企業人が学びを享受する環境の整備について大学としてはどのように考えているか教えていただきたい。

（法人）

⇒教育実習については申請段階で亀岡以北のすべての公立高校および兵庫県北部4校から受入承諾書をいただいている。また、福知山市教育委員会からも同様の承諾書をいただいております。運営側としては承諾書をいただいた範囲内で実習に行ってほしいと考えている。だが、学生がその学校へ実習に行く交通手段が課題である。多くの学生は実家に帰り、いわゆる母校に行く方が通勤に便利という可能性もあり、それについては今後個別の事情との相談になると考えている。

⇒社会人教育については視野に入れており、2年分の学費で4年間もしくは3年間学び、修士の学位を取得できる長期履修制度という制度を設けている。ただ、長田野工業団地は主に製造業であり、多くの社員は地元の工業高校出身であるため、必ずしもニーズと合うわけではない。とはいえ、AI活用やデータ利活用などの意識改革を大学から情報提供する形で進めるとするのは1つの案であると考えている。

もう1点は地域経営学部の学問分野に対応する大学院教育はどういったものであるか、もう少し具体的に提示できるように検討を進めるべきだと考えている。

（委員）

- 教育実習先である中学・高校に福知山公立大学の学生が行くことが究極の大学PRにな

ると考える。

- 大阪府・市では学士課程を卒業した者だけが大学院に入れるという見方をすでにやめており、職業訓練給付金を使い、できるだけ学びやすい体制を作るということも行っている。そういったことも地域に大学がなければ機会のないことだと考えるため、可能であれば将来的に検討を進めていただきたい。

(委員)

- 実際に製造業の現場で全社員に AI を学ばせるということをしている会社もある。製造業こそまさに AI を学び、活用しなくてはならない時代になってきているため、工業団地の企業などにニーズ調査を行うと面白いと思う。
- 福知山公立大学も AI をたくさん導入されており、実際にその恩恵を受けたこともあるため、その能力をどんどん地域に波及させていただけると面白いと思う。また、社会人枠に大学院と同様のレベルが求められる時代でもなくなっているため、ぜひ検討していただきたい。
- 「地域協働演習」で市役所の支援を受けながら演習を立ち上げて実施されたと聞いたが、具体的な内容を教えていただきたい。

(法人)

⇒情報学を基盤とした地域協働型教育を新しく作るうえで、大学と地域のいろいろな組織や人々が組織的に連携し教育した結果を地域に還元する形にしたいと考えた。その時に個人的なつながりでの協働だけではなく、「福知山モデル」としてモデル化できる組織的な取組みとして展開したいと考えた。地域にはいろいろな協働のアクターがいるが、まずは設置者である福知山市と協働したいと考え、市と協議を重ねた。今年度は両学部生混在の9クラスで展開している。市役所内のニーズ調査およびテーマ設計には市にも協力いただいた。

情報学を基盤とするため、まずデータ分析について学び、市の担当の方からそれぞれのテーマについて現状の事業と課題をレクチャーしていただき、学生たちに問題意識を持たせたうえでフィールドワークを行った。フィールドワークもただ見たり参加したりするのではなく、必ずデータ収集をして分析することを試みている。1年生なりに何を学び、どこに課題意識を持ち、データからこういった結論を見出したのか、今後報告会を行う予定である。

(2) 報告事項：令和7年度公立大学法人福知山公立大学財務諸表等について

(法人)

資料により説明。

(委員)

- 決算内容については評価委員会で評価すべき内容ではなく、ここで報告を受けたということになるが、委員から意見はないか。

(委員)

- 5号館隣接用地の購入について、どのような利用目的であるか教えていただきたい。

(法人)

⇒本学の施設は学生数や他大学に比べ、現状では不十分であると考えており、必要なときに建物が建てられるように、地権者が売却意向を持っていた隣接土地を取得する判断をした。